

支援につながりにくい人の発見・関与プロセス —地域における支援のあり方を考える—

キーワード：保健師、社会的孤立、地域包括ケア、
多職種連携

領域・氏名

看護（公衆衛生看護学）助教／ 妻木美香

概要

ひきこもりや社会的孤立など、支援が必要でも自ら相談につながらない人への対応が課題となっています。保健師としての実践経験を踏まえ、地域での活動に着目し、支援につながりにくい人への気づきから関わり、継続支援に至る過程を明らかにし、地域での支援のあり方を探求しています。

具体的な内容

地域で支援につながりにくい人々に対して、保健師がどのように対象者に気づき、関係性を築き、支援へとつなげているのか、その過程に関心をもって研究に取り組んでいます。これまでに、保健師の地域活動の特徴や役割について整理してきました。今後は、実践の中で蓄積されてきた関わりのあり方を丁寧に捉え、地域の実情に応じた支援の進め方を示すとともに、実践や人材育成に資する知見の提示を目指します。

information

自治体の保健師教育、自治体や地域包括支援センター、福祉・医療機関等と連携し、ひきこもりや社会的孤立にある方への支援について、一緒に考えることができます。また、地域での気づきや関わり方を整理し、支援の進め方を検討することも可能です。現場の課題に応じた共同研究や出前講座など、お気軽にご相談ください。